



DNW-17022 の概要

課題番号 : DNW-17022

課題名 : 新規抗マラリア薬の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

東岸 任弘 (国立大学法人大阪大学微生物病研究所)

課題番号 DNW-17022 では、既存薬と異なるメカニズムの、新規抗マラリア薬の創出に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :

マラリア原虫の赤血球期に作用してマラリア症状を抑え、かつ感染の拡大を抑えることが可能な、アルテミシニン等の既存の抗マラリア薬に対する耐性株にも効果を示す新たな経口抗マラリア薬。

- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :

以下のことが PI から示されている。

赤血球内発育ステージの感染率を算出できる新規評価系を確立している。この新規評価系を用いて、化合物 X が既存の抗マラリア薬 (アルテミシニン、クロロキン等) と作用メカニズムが異なることを確認している。また、マウスを用いた *in vivo* 評価系においても、化合物 X が十分な抗マラリア活性を有することを確認している。

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。